

旭市子ども会育成連絡協議会

市内80団体の子ども会が加入している「旭市子ども会育成連絡協議会」では、毎年子どもパークゴルフ大会や親子地引き網体験、交歓会、書き初め展といった四季折々のイベントを開催し、子ども会の活動を支援しています。

子どもたちに交流や体験の機会を提供することは、子どもの心身の健全な成長につながると考えています。

今回は本協議会で力を入れている「ジュニア・リーダー」の活動を紹介します。

ジュニアリーダースクラブ

「ジュニア・リーダー」とは、子ども会を中心に地域活動を行う青少年のボランティアです。お兄さん・お姉さんとして子どもたちをサポートし、大人と子どもの橋渡しの役割を担う、子ども会にとって重要な存在です。

市ではジュニア・リーダーの中高生を中心に、ジュニアリーダースクラブを組織し、子ども会行事などで活躍しています。

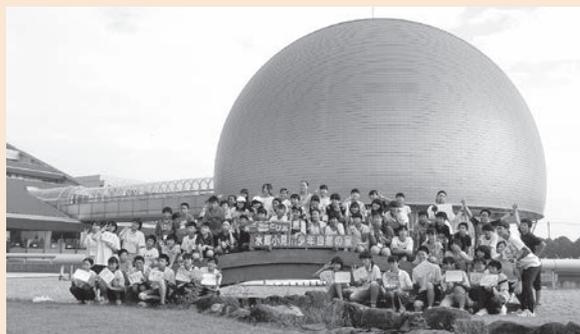
現在クラブの人数は高校生3人、中学生19人の合計22人で、さまざまな活動を通して子どもたちとの信頼関係を築きながら、子どもたちをまとめる力を身に付けています。そのため、教師や保育士などを目指す人が多く、実際に教師になった先輩も少なくありません。

ジュニア・リーダー初級講座

ジュニア・リーダーを養成するため、市内の小学校5・6年生を対象に、毎年6月から約半年間にわたって講座を開講しています。大変好評で年々参加者も増え、今年度は総勢51人の子どもたちが集まり、活気ある講座となりました。

魅力は宿泊体験で、今年も水郷小見川少年自然の家で8月22日から24日までの2泊3日の日程で開催しました。天候にも恵まれ、子どもたちはカヌー体験や草木染め、キャンプファイヤーなどを楽しみました。

最初はお互いに緊張していた子どもたちが、すぐに打ち解けて、指導役のジュニア・リーダーとも仲良しになり「来年は自分もジュニア・リーダーになりたい!」と、頼もしい感想が目立ちました。



ジュニアリーダースクラブと受講生の子どもたち

第17回 みんなの学校自慢



元気いっぱい
笑顔いっぱい 共和小

共和小6年
伊藤 優衣さん

私たちの共和小学校には、たくさんの自慢できることがあります。その中でも、特にすごいところを3つ紹介します。

1つ目は、全校児童で「共和3D」に取り組んでいることです。「共和3D」は、3つのことができれば社会に出て困らないという趣旨で作られました。今年度は「進んで勉強ができる」「進んで挨拶ができる」「進んで運動ができる」を目標に取り組んでいます。

2つ目は、高学年の児童が「さわやかサーキット」に元気いっぱい取り組んでいることです。「さわやかサーキット」では、校庭を1周する間に雲梯、タイヤ跳び、平行

棒などを決められた秒数や回数を行いながら、体力を高めています。また昨年度からクラスごとに周回数を集計し、みんなで競い合っています。

3つ目は、フェスティバル鑑賞会があることです。フェスティバル鑑賞会では、午前中、PTAの方々に協力してもらって、餅つき体験をします。その後、雑煮ときなこ餅を食べます。あまりにもおいしいので、みんな笑顔で何回もおかわりをしていました。午後には芸術鑑賞をします。今年は「杜子春」の劇を鑑賞し、家族の大切さを改めて感じました。

このように共和小学校は、元気いっぱい笑顔いっぱいの魅力のある小学校です。



楽しく餅つき体験